

エコアクション21 2018年度環境活動レポート

(対象期間：2018年4月～2019年3月)

2019年9月30日



目次

1. 環境方針
2. 会社概要
3. 許可内容
 - 3-1) 産業廃棄物収集運搬業
 - 3-2) 産業廃棄物処分業
 - 3-3) その他の許認可
4. 施設状況
 - 4-1) 千葉リサイクルセンター
 - 4-2) 新木場リサイクルセンター
 - 4-3) 白岡リサイクルセンター
5. 処理フローシート
 - 5-1) 千葉リサイクルセンターおよび白岡リサイクルセンター（木くずリサイクル）
 - 5-2) 新木場リサイクルセンター（混合廃棄物処理）
6. 環境活動計画、環境目標、評価
 - 6-1) 2017年～2019年度 環境目標
 - 6-1-1) 本社
 - 6-1-2) 千葉リサイクルセンター
 - 6-1-3) 新木場リサイクルセンター
 - 6-1-4) 白岡リサイクルセンター
 - 6-2) 2018年度環境目標及びに実績の評価
 - 6-2-1) 本社
 - 6-2-2) 千葉リサイクルセンター
 - 6-2-3) 新木場リサイクルセンター
 - 6-2-4) 白岡リサイクルセンター
 - 6-3) 2018年度環境活動計画の内容及び評価
 - 6-3-1) 本社
 - 6-3-2) 千葉リサイクルセンター
 - 6-3-3) 新木場リサイクルセンター
 - 6-3-4) 白岡リサイクルセンター
7. 環境関連法規への違反、起訴等の有無、その他
8. 地域融和
9. 代表者による全体の評価と見直し結果
10. 次年度の取組内容
 - 10-1) 2019年度環境活動計画の内容
 - 10-1) 本社
 - 10-2) 千葉リサイクルセンター
 - 10-3) 白岡リサイクルセンター

1. 環境方針

基本理念

私たちシナネンエコワーク株式会社は、これからも真の循環型社会の実現に貢献します。
次世代の為の地球環境保護を目的とし、循環型社会の構築を通して広く社会に貢献致します。
地域社会との共生を前提とした廃棄物リサイクルシステムを構築し、限りある資源の有効活用を推進致します。

環境方針

1. 廃棄物の徹底した削減、可能な限りの再資源化を図ります。
2. 環境経営システムを確立し、継続的に改善することにより環境保全に努めます。
3. 環境関連法規及び規制を遵守いたします。
4. 二酸化炭素削減等、環境負荷の低減を図り、自然との調和、地域社会との共生を前提としたリサイクルシステムを構築いたします。
5. 全ての従業員に教育や意識高揚のための掲示物などを通じて、企業理念・環境方針を徹底し、意識と知識の向上を図ります。
6. グリーン購入を促進し、環境負荷を可能な限り低減することに努めます。
7. お客様をはじめ社会全体の環境意識を高めていくため、講習会の開催や施設見学を通じて積極的に情報を発信していきます。

この環境方針は、社内外に公表します。

2019年4月1日
シナネンエコワーク株式会社
代表取締役社長 神田 勉

2. 会社概要

1. 名称 シナネンエコワーク株式会社
(2019年4月1日、品川開発株式会社より商号変更)
2. 代表者名 代表取締役社長 神田 勉

3. 所在地

事業所名称	所在地	連絡先	備考
本社	〒108-6306 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階	TEL:03-6478-7830 FAX:03-6478-7831	2019年1月に本店移転
千葉リサイクルセンター	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港223番9号	TEL:043-204-7201 FAX:043-204-9511	—
新木場リサイクルセンター	〒136-0082 東京都江東区新木場4丁目5番23号	TEL:03-5534-6040 FAX:03-5534-6041	2018年8月末操業終了(2018年度はエコアクション21対象サイト)
白岡リサイクルセンター	〒349-0203 埼玉県白岡市下大崎888	TEL:0480-48-5914 FAX:0480-93-3500	2018年10月より操業開始(2019年1月より環境活動を開始)

ホームページアドレス：<https://sinanecowork.com>

4. 設立 昭和36年10月

- 4-1) 工場設立 千葉リサイクルセンター 2004年11月
新木場リサイクルセンター 2016年4月
白岡リサイクルセンター 2018年10月

5. 資本金 3,000万円

6. 事業内容(2018年度末時点)

- 産業廃棄物処分業(中間処理)
- 一般廃棄物処分業(中間処理)
- 産業廃棄物収集運搬業
- 損害保険代理店業および生命保険の募集に関する業務

≪事業活動の詳細≫

【環境事業部】

- ・ 自社施設の運営
 - ▶ 千葉リサイクルセンターおよび白岡リサイクルセンター
：木くず中間処理(リサイクルによる木質チップの製造)
 - ▶ 新木場リサイクルセンター：混合廃棄物中間処理
- ・ 廃棄物リサイクル燃料・原料供給事業
 - ▶ 産業ボイラー用燃料及びバイオマス発電用燃料チップの仕入販売
 - ▶ ボード原料及び製紙原料チップの仕入販売

- ▶ RPF (Refuse derived paper and plastics densified fuel, 廃プラスチックリサイクル燃料) の販売
- ・ 廃棄物処理・リサイクルのトータルサポート

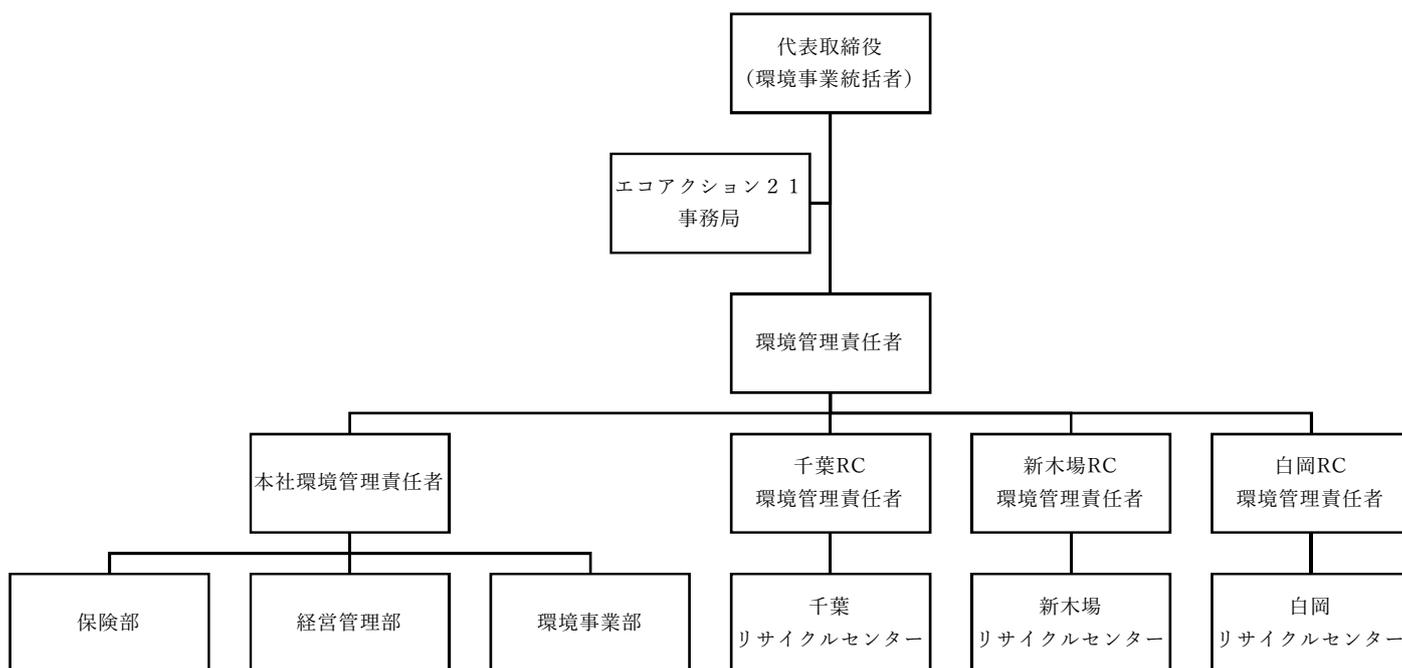
【保険部】

- ・ 損害保険ジャパン日本興亜(株)及び東京海上日動火災保険(株)の損害保険代理店業務
- ・ シナネンホールディングスグループ会社及びその従業員を中心に、自動車保険、火災保険等の取扱い及びその付帯業務

7) 売上高 1,048 百万円 (2019 年 3 月期)

8) 従業員数 40 名(2018 年 6 月 1 日時点)

9) 環境組織図 (2018 年度)



【環境管理責任者】

区分	氏名	連絡先
環境管理責任者・本社環境管理責任者	阿部 寛	03-5425-4697
千葉 RC 環境管理責任者	長瀬 剛	043-204-7201
新木場 RC 環境管理責任者	富樫 俊一	03-5534-6040
白岡 RC 環境管理責任者	富樫 俊一	0480-48-5914

【補足事項】

- 新木場リサイクルセンター…… 2019 年 2 月に産業廃棄物処分業許可返納 (2018 年 8 月末操業終了)
- 白岡リサイクルセンター …… 2018 年 9 月産業廃棄物処分業許可取得、2018 年 10 月操業開始 (2019 年 1 月より環境活動開始)
- 保険部…… 2019 年 4 月 1 日 事業譲渡完了

10) エコアクション 21 認証・登録範囲

項目	内容
認証・登録番号	0001240
対象サイト	本社、千葉リサイクルセンター
事業活動	産業廃棄物及び一般廃棄物中間処理業、 木質チップ・RPF 及び金属スクラップ等の売買、 損害保険代理業
認証・登録日	2007年1月9日
更新・登録日	2019年1月9日
有効期限	2021年1月8日

【補足】

- 白岡リサイクルセンターは、2019年1月から認証対象として環境活動を開始
- 新木場リサイクルセンターは、2019年2月末に許可を返納し操業終了したため認証対象から削除

3.許可内容

3-1) 産業廃棄物収集運搬業

※ 2018年12月に下記のすべての収集運搬業許可を返納

各許可地取扱品目一覧				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	許可地	許可番号	許可年月日 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	リートくず及び陶磁器くず	ガラスくず・コンクリートくず	鉞さい	がれき類	ばいじん
1	東京都	13-10-115125	2016/3/9 2021/3/8	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①	○ 注①
積替保管含む					★				★						★	★		★		※
2	千葉県	01200115126	2016/2/2 2021/2/1	○	○	○	○	○	○ 注①②	○	○	○	○	○	○	○ 注①②	○	○	○ 注①	○
3	埼玉県	01100115127	2016/1/18 2021/1/17	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○ 注①	○
4	神奈川県	01400115128	2016/1/14 2021/1/13	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○ 注①	○
5	茨城県	00800115129	2016/2/4 2021/2/3	○	○	○	○	○	○ 注①②	○	○	○	○	○	○	○ 注①②	○	○	○ 注①	○
6	群馬県	01000115130	2015/12/17 2020/12/16	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○	○	○	○	○ 注①	○	○	○ 注①	○
7	栃木県	00900115131	2016/1/22 2021/1/21	○	○ 注③	○ 注③	○ 注③	○ 注③	○ 注①③	○	○	○	○	○	○ 注③	○ 注①③	○	○	○ 注①	○

注① 石綿含有産業廃棄物を含む 注② 自動車破砕物を除く 注③ 水銀含有産業廃棄物を含む

※積替え保管を含むについては以下の通り

所在地：東京都江東区新木場四丁目5番23号

所在地面積：1513.85 m²

最大保管高さ：1.5m

産業廃棄物の種類		保管量	
1	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物に限る）	コンテナ2個	16 m ³
2	汚泥、金属くず（廃乾電池に限る）	ペール缶5個	0.1 m ³
3	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃蛍光管に限る）	ドラム缶5個	1.3 m ³
		保管量合計	17.4 m ³

3-2) 産業廃棄物処分業、再生事業者登録

千葉リサイクルセンター 産業廃棄物処分業	
許可地	千葉市
許可番号	第05520115125号
事業区分(処理方法)	産業廃棄物 中間処理(破碎)
許可新規取得日	2004/11/12
許可年月日 - 有効期限	2016/11/12 - 2021/11/11
能力	木くず 300 t / 日 (12時間)

千葉リサイクルセンター 一般廃棄物処分業許可	
許可地	千葉市
許可番号	第3号
事業区分(処理方法)	一般廃棄物 処分業(破碎)
許可新規取得日	2005/2/3
許可年月日 - 有効期限	2019/2/3 - 2021/2/2
能力	木くず 300 t / 日 (12時間)

千葉リサイクルセンター 再生事業者登録	
許可地	千葉県
許可番号	第119号
許可の種類 (許可品目)	産業廃棄物 再生事業者登録(木くずの再生)
許可年月日 - 有効期限	2005/7/5 - 期限なし

新木場リサイクルセンター		産業廃棄物処理業			
許可地	東京都				
許可番号	第13-20-115125号				
事業区分(処理方法)	産業廃棄物 中間処理(破碎、切断、圧縮梱包)				
許可年月日－有効期限	2015/5/1 － 2020/4/30				
品目	処理能力(t/日)				
	破碎単独	破碎混合	切断	圧縮梱包	
廃プラスチック	34.8	218.1	151	66	
紙くず	48.7		129	66	
繊維くず	50.6		51	66	
ゴムくず	16.6		224	-	
金属くず (廃乾電池及び廃蛍光管を除く)	55.2		488	-	
がれき類	571.2		-	-	
ガラスくず・コンクリート・ 陶磁器くず(廃蛍光管を除く)	261.6		-	-	
ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず(石膏ボードに限る)	-	-	129	-	
木くず	-	-	237	-	

※ 2019年2月 産業廃棄物処分業許可を東京都に返納

白岡リサイクルセンター		産業廃棄物処分業			
許可地	埼玉県				
許可番号	01120115125				
事業区分(処理方法)	産業廃棄物 中間処理(破碎)				
許可年月日－有効期限	2018/9/19 － 2023/9/18				
能力	木くず 327.16 t / 日 (16時間)				

3-3) その他の許可

古物商許可 東京都〈第 301131607249 号〉

4. 施設状況

4-1) 千葉リサイクルセンター

施設の種類：破砕施設

設置許可年月日：2004年4月9日（許可番号：第2004-133-1-064号）

処理能力：木くず、300t/日（12時間）

処理方法：木くず破砕機（ハンマークラッシャー）による破砕

構造・設備概要：	* 破砕機	1台
	* 吊下げ式磁選機	1台
	* ドラム磁選機	2台
	* 金属探知機	2台
	* 旋回篩機	1台
	* 集塵装置	1台
	* 散水栓	3ヶ所
	* 粉じん防止ミスト	場内全域

処理実績：木くず産業廃棄物中間処理実績 43,852 t（2018年4月～2019年3月実績）

木くず一般廃棄物中間処理実績 1,484 t（2018年4月～2019年3月実績）

なお、木くず以外の処理は行っていない

環境保全対策

- * 廃棄物の保管施設、破砕ライン及び製品保管ヤードは、全体を一つの建物内に設置
- * 建物内に集塵機設置、コンベア出口等で集塵
- * 建物のベンチレーターには防塵ネットを取り付け
- * 保管時の粉塵防止対策として散水栓3ヶ所、また、天井にミスト噴霧装置設置
- * 騒音対策として、建物内壁に吸音材を使用、また、建物シャッター開口部に面する境界面に高さ1.8mのコンクリート壁設置
- * 振動防止対策として、破砕ライン基礎に有筋コンクリート設置、破砕機は本体と架台間に防振ゴムを取り付けている

産業廃棄物保管施設

破砕前：保管面積／433 m²、保管容量／1.182 m³

破砕後：①保管面積／136 m²、保管容量／325 m³

②保管面積／47 m²、保管容量／113 m³

③保管面積／67 m²、保管容量／160 m³

④保管面積／67 m²、保管容量／160 m³

4-2) 新木場リサイクルセンター (2019年2月 産業廃棄物処分業許可を東京都に返納)

施設の種類：破碎、切断、圧縮梱包施設

設置年月日：2007年11月16日

処理能力：

品目	処理能力 (t/日)			
	破碎単独	破碎混合	切断	圧縮梱包
廃プラスチック類	34.8	218.1	151	66.0
紙くず	48.7		129	66.0
繊維くず	50.6		51	66.0
ゴムくず	16.6		224	-
金属くず (廃乾電池及び廃蛍光管を除く)	55.2		488	-
がれき類	571.2		-	-
ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず(廃蛍光管を除く)	261.6		-	-
ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず(石膏ボードに限る)	-	-	129	-
木くず	-	-	237	-

構造・設備の概要：*富士鋼業株式会社製

油圧二軸破碎機 SG100D 1台

一軸破碎機 SM1650A 1台

*大阪エヌ・イー・アイ・マシナリー株式会社製

六面包装機付き圧縮梱包機 CP2-65SB 1台

*株式会社北町機械製

ギロチン式油圧切断機 KGS37-11 1台

*吊下げ式磁選機 1台

*ドラム式磁選機 1台

*振動フィーダー 1台

*集塵装置 1台

処理実績：中間処理実績(2018年4月～2018年8月実績) (2018年8月で操業終了)

廃棄物種類	トン
廃プラスチック類	781.1
紙くず	3.5
繊維くず	11.7
ゴムくず	0
金属くず	93.0
がれき類	10.6
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	141.7
木くず	206.9

環境保全対策

- * 廃棄物の保管施設、破砕ラインは建物内に設置
- * 建物内に集塵機設置、コンベア出口等で集塵
- * 保管時の粉塵防止対策として、天井よりミスト装置設置

新木場リサイクルセンター保管施設

産業廃棄物の種類	処理前		処理後	
	面積(m ²)	保管容量(m ³)	面積(m ²)	保管容量(m ³)
廃プラスチック	9.2	7.1	30.0	66.0
紙くず	7.9	1.6	6.0	12.0
木くず	8.8	8.0	39.0	54.0
繊維くず	8.0	7.0	12.8	16.0
繊維くず	3.0	6.0	-	-
金属くず	-	-	3.0	1.5
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (石膏ボード)	8.8	8.0	12.8	16.0
廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類	70.0	40.8	-	-
廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず	-	-	19.5	27.0

4-3) 白岡リサイクルセンター (2018年9月許可取得)

施設の種類	破碎施設
設置許可取得日	2017年9月26日(許可番号:5-108)
処分業許可取得日	2018年9月19日(許可番号:01120115125)
許可品目	木くず
処理能力	327.16t/日(16時間)
処理方法	破碎機(ハンマークラッシャー)による破碎

構造・設備概要:

* 破碎機	1台
* 吊下げ式磁選機	1台
* ドラム磁選機	2台
* 金属探知機	1台
* 旋回篩機	1台
* 集塵装置	1台
* 散水栓	3ヶ所
* 粉じん防止ミスト	場内全域

処理実績

- 2018年度合計処理実績 7,520 t
- EA2 1環境活動期(2019年1月~2019年3月)処理実績 5,054 t

環境保全対策:

- * 廃棄物の保管施設、破碎ライン及び製品保管ヤードは、全体を一つの建物内に設置
- * 建物内に集塵機設置、コンベア出口等で集塵
- * 保管時の粉塵防止対策として、散水栓3箇所、また、天井よりミスト装置設置、エアカーテンおよび高速シャッターにより出入口からの粉塵流出を防止。
- * 建物から敷地境界までの距離を長くとり、破碎機を地下ピットに収めることで騒音を軽減。
- * 振動防止対策としては、破碎ライン基礎に有筋コンクリート設置、破碎機は本体と架台間に防振ゴムを設置

産業廃棄物保管施設:

破碎前:保管面積/330 m²、保管高さ/6.5m(屋内)、保管容量/1,370.5 m³



破碎後：保管面積／103.0 m²、保管高さ／4.0m、保管容量／329.6 m³

保管面積／53.5 m²、保管高さ／4.0m、保管容量／171.2 m³

保管面積／51 m²、保管高さ／4.0m、保管容量／163.2 m³

産業廃棄物保管場所 (処理後)	
木くず	
保管面積	103.0m ²
保管高さ	4.0m
保管容量	329.6m ³
管理者氏名	富樫 俊一
電話番号	0480-48-5914



産業廃棄物保管場所 (処理後)	
木くず	
保管面積	53.5m ²
保管高さ	4.0m
保管容量	171.2m ³
管理者氏名	富樫 俊一
電話番号	0480-48-5914



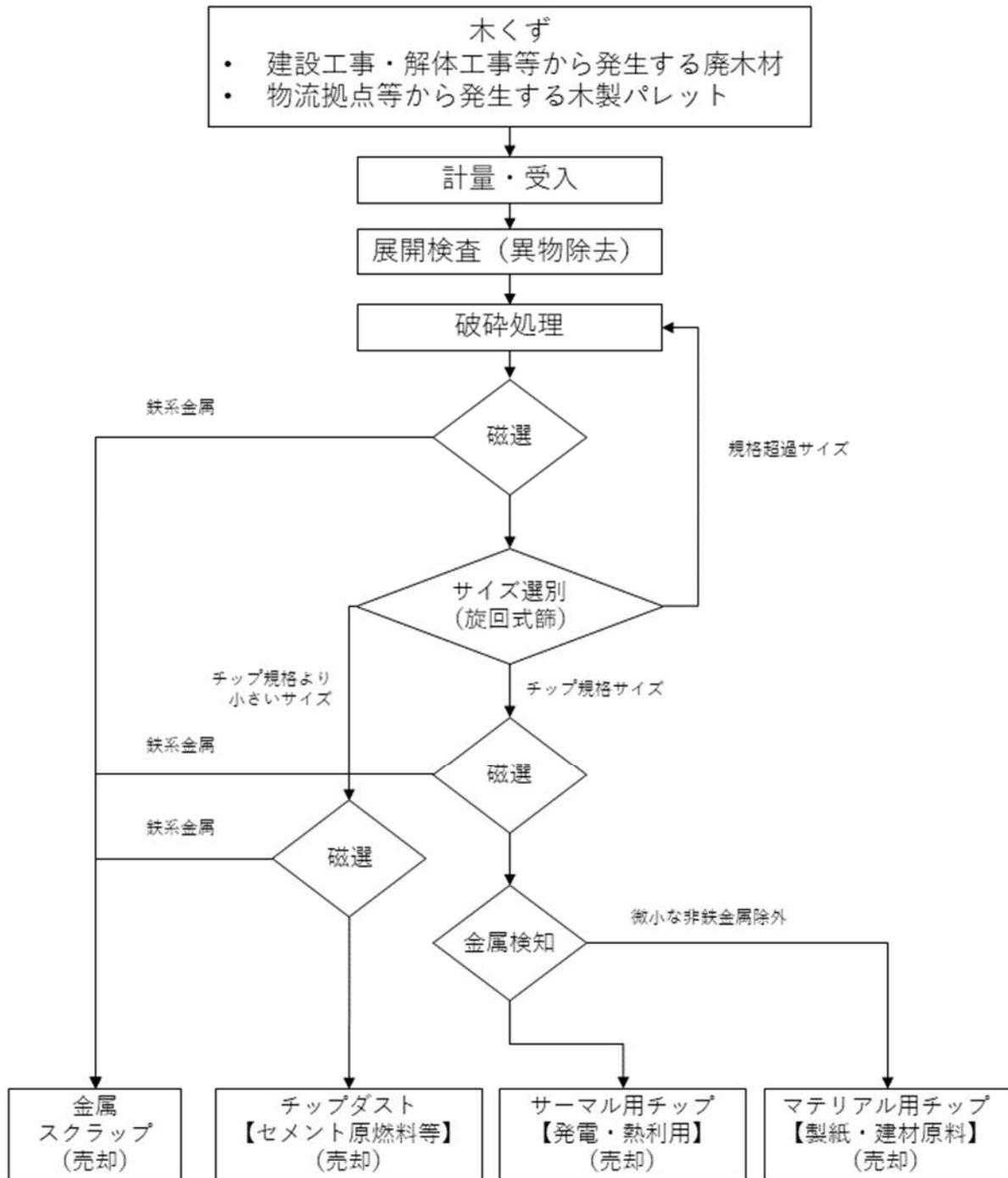
産業廃棄物保管場所 (処理後)	
木くず	
保管面積	51.0m ²
保管高さ	4.0m
保管容量	163.2m ³
管理者氏名	富樫 俊一
電話番号	0480-48-5914



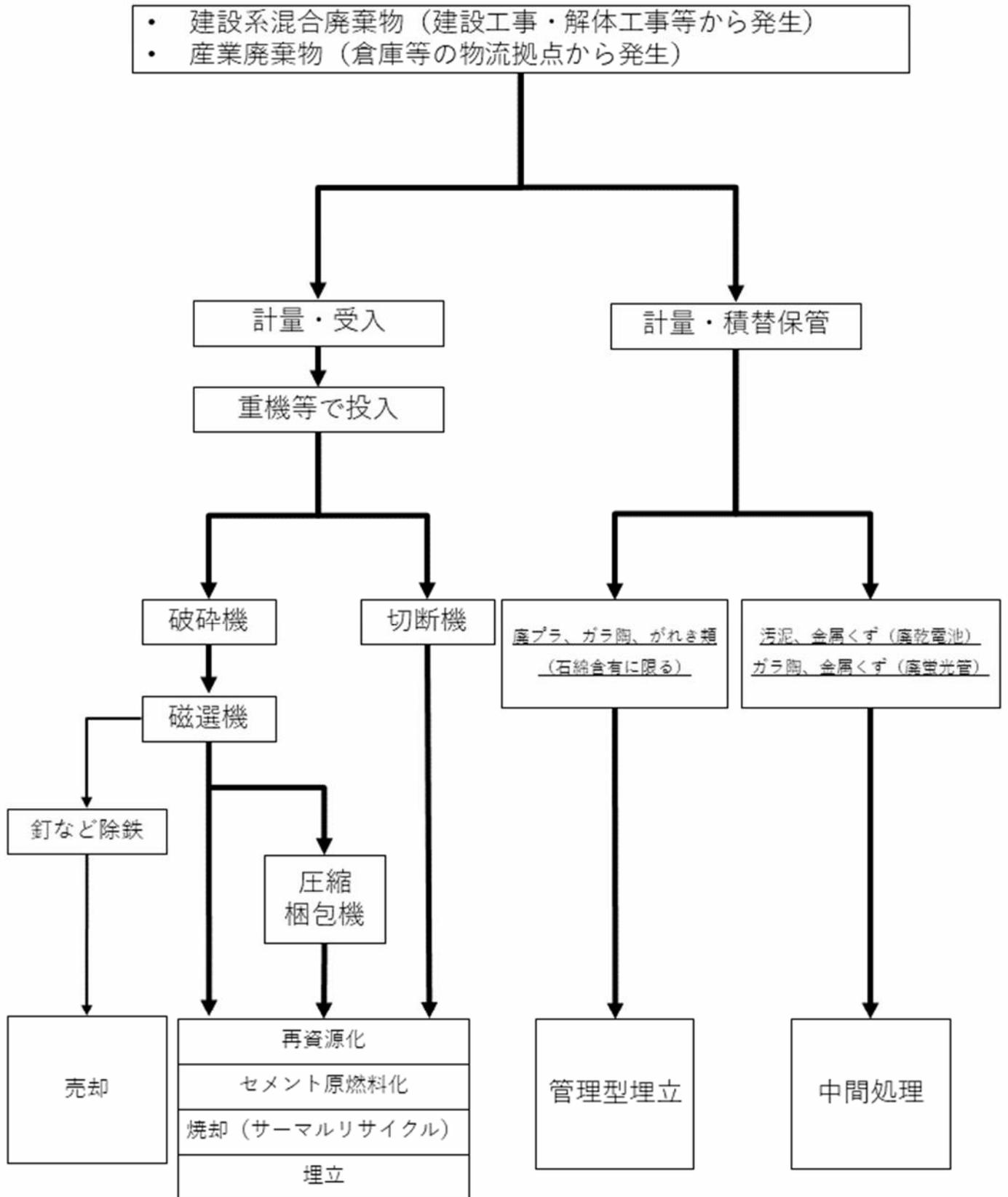
5. 処理フローシート

5-1) 千葉リサイクルセンターおよび白岡リサイクルセンター（木くずリサイクル）

処理フローシート (千葉リサイクルセンター・白岡リサイクルセンター)



処理フローシート（新木場リサイクルセンター）



6. 環境活動計画、環境目標、評価

6-1) 2018年～2020年度環境目標

6-1-1) 本社

- * テナントの為、電力・水道使用量の把握は不可。そのため、数値化した環境活動計画・環境目標は、策定できない。
- * 全社で使用した社用車の燃料を本社にて取りまとめている。
- * 2019年1月に移転。シナネンホールディングスグループ6社と一括の事業所となる。

環境目標	項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		実績値(L)	単位	2017年度比	目標値(L)	2017年度比	目標値(L)	2017年度比	目標値(L)
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	ガソリン使用量	4,685	L	0.5%	4,661	1.0%	4,638	1.5%	4,615
	軽油使用量	415	L	0.5%	413	1.0%	411	1.5%	408
	合計	5,100	L	-	5,074	-	5,049	-	5,023

6-1-2) 千葉リサイクルセンター

電力排出係数_平成28年度実績 環境省・経済産業省公表
A0086: シナネン㈱/調整後排出係数 事業者全体 0.449kg-CO₂/kWh

環境目標	項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度					
		係数	単位	実績値	単位	実績値 (原単位)	単位	2017年度比	目標値 (原単位)	2017年度比	目標値 (原単位)	2017年度比	目標値 (原単位)
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	電力使用量	0.449	kg-CO ₂ /kWh	630,299	kWh	8.193	kg-CO ₂ /t	0.5%	8.152	1.0%	8.111	1.5%	8.070
	軽油使用量(重機)	2.624	kg-CO ₂ /L	105,376	L	6.306	kg-CO ₂ /t	0.5%	6.274	1.0%	6.243	1.5%	6.211
	LPG使用量	3.002	kg-CO ₂ /kg	74,510	kg	0.005	kg-CO ₂ /t	0.5%	0.005	1.0%	0.005	1.5%	0.005
	合計	-	-	-	-	14.504	kg-CO ₂ /t	-	14.431	-	14.359	-	14.286
排出廃棄物量	廃プラスチック	-	-	19,440	kg	0.441	kg/t	0.3%	0.440	0.4%	0.439	0.5%	0.439
	一般廃棄物	-	-	533	kg	-	-	0.5%	530	1.0%	528	1.5%	525
水の使用量	上水使用量	-	-	4,036	m ³	0.092	m ³ /t	0.5%	0.092	1.0%	0.091	1.5%	0.091
	下水排出量	-	-	312	m ³	0.007	m ³ /t	0.5%	0.007	1.0%	0.007	1.5%	0.007
グリーン購入品目		-	-	14	品目	-	-	+1	15	+2	16	+3	17
生産量(t)		-	-	44,097				-		-		-	

6-1-3) 新木場リサイクルセンター

2018年8月操業終了のため、目標は設定していない。

電力排出係数_平成28年度実績 環境省・経済産業省公表
A0269: 東京電力エナジーパートナー㈱/調整後排出係数 事業者全体 0.474kg-CO₂/kWh

環境目標	項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度					
		係数	単位	実績値	単位	実績値 (原単位)	単位	2017年度比	目標値 (原単位)	2017年度比	目標値 (原単位)		
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	電力使用量	0.474	kg-CO ₂ /kWh	252,432	kWh	8.193	kg-CO ₂ /t	0.5%	8.152				
	軽油使用量	2.624	kg-CO ₂ /L	36,608	L	6.306	kg-CO ₂ /t	0.5%	6.274				
	合計	-	-	-	-	14.499	kg-CO ₂ /t	-	14.427				
排出廃棄物量	一般廃棄物(総量)	-	-	258	kg	-	-	0.5%	257				
水の使用量	上水使用量	-	-	318	m ³	0.105	m ³ /t	0.5%	0.104				
	下水排出量	-	-	318	m ³	0.105	m ³ /t	0.5%	0.104				
グリーン購入品目		-	-	6	品目	-	-	+1	+7				
処理量		-	-	3,023				-					

2018年8月操業終了の為
目標を設定していない。

6-1-4) 白岡リサイクルセンター

2018年10月より操業開始のため、2017年度実績無し。そのため、2018年度～2020年度の目標を設定していない。2018年度実績集計後に目標値の設定を予定している。

6-2) 2018 年度環境目標及び実績の評価

2018 年度二酸化炭素排出量合計：739,301.88kg-CO₂

【内訳】 本社：12,854.30 kg-CO₂

千葉リサイクルセンター：536,145.53 kg-CO₂

新木場リサイクルセンター：98,237.18 kg-CO₂

白岡リサイクルセンター：92,064.87 kg-CO₂

6-2-1) 本社

環境目標	項目	2018年度						評価	
		目標値	単位	実績値	単位	差異	達成率		達成度合
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	ガソリン使用量	4,661	L	5,413	L	752	116.1%	×	達成まであと一歩である。引き続きエコドライブや計画性のある営業車利用を心掛ける。
	軽油使用量	413	L	109	L	-304	26.4%	○	軽油車を使用する機会が激減した為。
	合計	5,074	L	5,522	L	448	108.8%	×	-

6-2-2) 千葉リサイクルセンター

電力排出係数_平成28年度実績 環境省・経済産業省公表
A0086：シナネ㈱/調整後排出係数 事業者全体 0.449kg-CO₂/kWh

環境目標	項目	排出係数	単位	2018年度						評価			
				目標値 (原単位)	単位	実績値	単位	実績値 (原単位)	単位		差異	達成率	達成度合
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	電力使用量	0.449	kg-CO ₂ /kWh	8.152	kg-CO ₂ /t	630,299	kWh	8.193	kg-CO ₂ /t	0.041	100.5%	×	達成まであと一歩であった。引き続き効率的な稼働を心掛ける。
	軽油使用量(重機)	2.58	kg-CO ₂ /L	6.274	kg-CO ₂ /t	105,376	L	6.306	kg-CO ₂ /t	0.032	100.5%	×	同上
	LPG使用量	3.00	kg-CO ₂ /kg	0.005	kg-CO ₂ /t	74,510	kg	0.005	kg-CO ₂ /t	0.000	100.5%	×	同上
	合計	-	-	14.431	kg-CO ₂ /t	-	-	14.504	kg-CO ₂ /t	0.073	100.5%	×	-
排出廃棄物量	廃プラ類	-	-	0.440	kg/t	36,160	kg	0.825	kg/t	0.385	187.6%	×	
	一般廃棄物	-	-	530	kg	627.5	kg	-	-	97.2	118.3%	×	事務員の増員が考えられる。
水の使用量	上水使用量	-	-	0.092	m ³ /t	3,336	m ³	0.076	m ³ /t	-0.016	83.0%	○	無駄な放水を防止できた。
	下水排出量	-	-	0.007	m ³ /t	237	m ³	0.005	m ³ /t	-0.002	71.8%	○	同上
グリーン購入品目	-	-	15	品目	15	品目	15	品目	0	100.0%	○	購入時にグリーン商品か否かを確認している結果と考えられる。	
生産量(t)	-	-	-	-	-	-	43,852	-	-	-	-	-	

6-2-3) 新木場リサイクルセンター

電力排出係数_平成28年度実績 環境省・経済産業省公表
A0269：東京電力エナジーパートナー㈱/調整後排出係数 事業者全体 0.474kg-CO₂/kWh

環境目標	項目	排出係数	単位	2018年度						評価			
				目標値 (原単位)	単位	実績値	単位	目標値 (原単位)	単位		差異	達成率	達成度合
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	電力使用量	0.474	kg-CO ₂ /kWh	8.152	kg-CO ₂ /t	117,738	kWh	43.568	kg-CO ₂ /t	35.416	534%	×	2018年8月に操業終了した為、適切な数値を出すことが困難である。
	軽油使用量	2.624	kg-CO ₂ /L	6.274	kg-CO ₂ /t	16,706	L	35.115	kg-CO ₂ /t	28.841	560%	×	
	合計	-	-	14.427	kg-CO ₂ /t	-	-	78.683	kg-CO ₂ /t	64.256	545%	×	
排出廃棄物量	一般廃棄物(総量)	-	-	257	kg	184	kg	-	-	-73	72%	○	
水の使用量	上水使用量	-	-	0.104	m ³ /t	244	m ³	0.137	m ³ /t	0.033	131%	×	
	下水排出量	-	-	0.104	m ³ /t	244	m ³	0.137	m ³ /t	0.033	131%	×	
グリーン購入品目	-	-	7	品目	7	品目	-	-	+0	100%	○		
処理量(t)	-	-	-	-	-	-	1,249	-	-	-	-	-	

6-2-4) 白岡リサイクルセンター

2018年10月より操業開始のため、2017年度実績無し。よって、2018年度目標はデータ把握とした。
2018年度実績(期間：2019年1月～3月)のみ以下に掲載

電力排出係数_平成28年度実績 環境省・経済産業省公表

A0386：ミライフ(株)／調整後排出係数 事業者全体 0.589kg-CO₂/kWh

環境目標	項目	2018年度					
		排出係数	単位	実績値	単位	実績値 (原単位)	単位
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量の原単位	電力使用量	0.589	kg-CO ₂ /kWh	90,327	kWh	10.527	kg-CO ₂ /t
	軽油使用量	2.58	kg-CO ₂ /L	13,073	L	6.789	kg-CO ₂ /t
	LPG使用量	3.00	kg-CO ₂ /kg	1517.1	kg	0.901	kg-CO ₂ /t
	合計	-	-	-	-	18.217	kg-CO ₂ /t
排出廃棄物量	廃プラ類	-	-	8,990	kg	1.779	kg/t
	一般廃棄物	-	-	135	kg	-	-
水の使用量	上水使用量	-	-	399	m ³	0.079	m ³ /t
	下水排出量	-	-	0	m ³	0.079	m ³ /t
グリーン商品	購入率	-	-	30.9	%	-	-
生産量(t)			-			5,054	

6-3) 2018 年度環境活動計画の内容及び評価

6-3-1) 本社

当社はテナント入居しており、環境負荷の数値は把握不可である。そのため、数値化した環境活動計画および環境目標は策定できない。

2019 年 1 月 21 日より、本社移転（シナネンホールディングスグループ 6 社集結）を踏まえて記載

目標	実施項目	達成手段	評価				コメント
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
二酸化炭素の削減	電気の管理	クールビズの導入（冷房設定温度 28℃、ノーネクタイ）	○	○	○	○	特に大きな問題は見られない。空調設定、照明等は当社単一で管理不可であるため、グループ各社と連携を取り調整する。
		ウォームビズの導入（暖房設定温度 20℃、セーター着用推進等）	○	○	○	○	
		照明の適正化、スイッチの適正管理（昼休み時間の消灯）	○	○	○	△	
	燃料管理	運転日報の記入	-	○	○	○	
		計画的な営業車利用による燃料の削減	○	○	○	○	
		Ecoドライブの徹底	○	○	○	○	
廃棄物排出量の削減	事務所	一般廃棄物の分別管理の徹底、再資源化	○	○	○	○	引き続き継続
		紙削減の為、使用済み用紙の裏紙を利用	○	○	○	○	問題無し。2018 年 10 月以降、社内の主要会議においてペーパーレス化を実施し、更に使用量削減
		両面印刷、両面コピーの徹底	○	○	○	○	
		機密書類の再資源化	○	○	○	○	引き続き実施。白岡リサイクルセンターにおいても導入
水使用量削減	水量管理	台所の節水（溜め洗い等）	○	○	○	-	2018 年 1 月移転前まで実施。本社移転後は実施不可
		トイレの節水（節水アイテムの設置）	○	○	○	-	
その他の取り組み		グリーン購入の促進（適合品の購入）	○	○	○	○	本社移転前まで実施。本社移転後はグループ共同購買となり、管理不可
		5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）管理	○	○	○	○	引き続き継続。本社移転後、「フリーアドレス制」が導入されたことから、特に「ゼロオンデスク」を実施
		従業員への教育（環境意識の向上）	○	○	○	○	引き続き継続

6-3-2) 千葉リサイクルセンター

目標	実施項目	達成手段	評価				評価
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
二酸化炭素の削減	電気の管理	デマンド管理システム活用による効率的な生産を行う	△	△	○	○	問題なし。継続する。
		空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃)	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		照明の適正化、スイッチをこまめに切る	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		操業時節電(必要無い機器設備の運転をこまめに停止)	○	○	△	△	工場稼働時間の長期化、生木の混入比率によって達成が困難であった。
	燃料管理	運転日報の記入	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		重機関連のアイドリングストップ	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		機器自主清掃とメンテナンスの徹底	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		効率的な操業による時短	△	△	△	△	木くずの品種により、処理作業時間を多く要するケースあり
廃棄物排出量の削減	入出荷作業時	混入異物分別および減容管理の徹底	○	○	△	△	付着物の増加が要因。付着物が顕著な場合は返却対応、排出事業者が特定できる場合は返却など対策しているので、より徹底する。
		排出事業者への不適合物の周知徹底	○	○	△	△	
	事務所	一般廃棄物の分別管理および再資源化の徹底	○	○	○	○	各項目を問題なく行っている。要因として、事務員の増員に伴う排出量の増加が考えられるが、実績が目標より+97Kgなので、達成手段をより徹底する必要があると考えられる。
		使用済み用紙の裏面利用促進	○	○	○	○	
		ペーパーレスの推進	○	○	○	○	
		使用済み封筒の再利用	○	○	○	○	
機密書類の再資源化	△	△	△	△	2019年7月に機密書類BOXの鍵手配完了したため、2019年度よりさらに活用		
水使用量削減	水量管理	廃材への散水量の適正化	○	○	○	○	ユーザーよりチップ水分率に関する指摘があり、ミスト使用量を減らした。
		ミスト装置の有効利用による放水の節約	○	○	○	○	
		製品(チップ)への無駄な散水防止	○	○	○	○	
その他の取組		グリーン購入の促進(適合品の購入)	○	○	○	○	問題なし。継続する。
		自治会清掃への積極的参加による地域環境保全の推進	○	○	○	○	
		従業員教育(安全・環境意識の向上)	○	○	○	○	
		5Sの徹底	○	○	○	○	
		製品(処理後チップ化製品)の環境性能の向上	○	○	○	○	

6-3-3) 新木場リサイクルセンター

目標	実施項目	達成手段	評価				評価
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
二酸化炭素の削減	電気の管理	デマンド管理システム活用による効率的な生産を行う	○	○	2018年操業終了のため 環境活動計画を取り下げた。		
		空調の適温化(冷房28°C、暖房20°C)	○	○			
		照明の適正化、スイッチをこまめに切る	○	○			
		作業時節電(必要無い機器設備の運転をこまめに停止)	○	○			
	燃料管理	運転日報の記入	○	○			
		重機関連のアイドリングストップ	○	○			
		機器自主清掃とメンテナンスの徹底	○	○			
		効率的な操業による時短	○	○			
廃棄物排出量の削減	入出荷作業時	混入異物分別および減容管理の徹底	○	○			
		排出事業者への不適合物の周知徹底	○	○			
	事務所	一般廃棄物の分別管理および再資源化の徹底	○	○			
		使用済み用紙の裏面利用促進	○	○			
		ペーパーレスの推進	○	○			
		使用済み封筒の再利用	○	○			
機密書類の再資源化	△	△					
水使用量削減	水量管理	廃材への散水量の適正化	○	○			
		ミスト装置の有効利用による放水の節約	○	○			
		製品(チップ)への無駄な散水防止	○	○			
その他の取組		グリーン購入の促進(適合品の購入)	○	○			
		自治会清掃への積極的参加による地域環境保全の推進	○	○			
		従業員教育(安全・環境意識の向上)	○	○			
		5Sの徹底	○	○			
		製品(処理後チップ化製品)の環境性能の向上	○	○			

6-3-4) 白岡リサイクルセンター

2018年10月より操業開始したため、2018年度環境活動計画は立てていない。
2019年度より環境活動計画を立て、取り組むこととする。

7. 環境関連法規への違反、起訴等の有無、その他

2019年4月に順守状況を確認した。

適用となる関連法規等	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	順守
廃棄物処理に関する各条例、施行規則、指導要領	順守
騒音規制法	順守
振動規制法	順守
消防法	順守

- ・環境関連法規に関する違反：なし
- ・関係当局からの違反等の指摘及び起訴等に関する事案：過去に1度もなし
- ・外部からの苦情等の受付：1件もなし

8. 地域融和

- ・道路清掃実施 2018年5月17日(木)、7月12日(木)、9月13日(木)、
11月8日(木)、12月13日(木)、2019年2月7日(木)
- ・工業団地自治会出席 2018年4月13日(金)

【千葉リサイクルセンター 清掃実施時の写真 2018年9月13日(木)】



9. 代表者による全体の評価と見直し結果

区分	評価・見直し
千葉リサイクルセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 操業開始（2004年）から年数が経過しているため、主要設備の劣化が見受けられる。本年度においては集塵装置の不具合から稼働時間が増加し、電力や軽油・水使用量の原単位が増加してしまったと考えられる。 ● エネルギー量の原単位が悪化した事に対しては、作業員のオペレーションスキルを向上させることで改善が見込まれる。 ● 下水の原単位の増加の一因として、「シャワー室の新設」が挙げられる。その分、従業員の労働環境改善に寄与している。
新木場リサイクルセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● おおむね目標達成できた。未達事項については、昨年度と比較した際の受入量増加が関わってくると考えられる。具体的には、処理困難物を受け入れた際には重機を通常より多く稼働する必要があるため、軽油を多く消費する。 ● その他、事務作業の増加に伴う不要書類および一般廃棄物の増加へ繋がったと推測される。 <p>(2018年度事業終了)</p>
白岡リサイクルセンター	<p>(方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 良質なチップ製品の生産量拡大に取り組む。 ● 法令順守体制を構築し、リサイクルの推進を図る。 ● 2018年度環境負荷データの把握ができたため、2018年度実績を基に2019年度の数値目標を設定する。

10. 次年度の取組内容

2019 年度環境活動計画の内容

10-1) 本社

テナントのため環境負荷の数値把握不可。定量化した環境活動計画・環境目標は、策定できない。

目標	実施項目	達成手段
二酸化炭素の削減	電気の管理	クールビズの実施（冷房設定温度 28℃、ノージャケット・ノーネクタイ等）
		ウォームビズの実施（暖房設定温度 20℃、上着着用等）
		照明の適正化、スイッチの適正管理（昼休み時間の消灯）
	燃料管理	運転日報の記入による適切な車両運行管理
		計画的な営業車利用による燃料の削減
		Eco ドライブの徹底
		カーシェアサービス導入による車両走行距離の低減
廃棄物排出量の削減	事務所	ペーパーレス化の推進（会議資料等）
		両面印刷、両面コピーの徹底
		機密書類の再資源化（溶解処理）
水使用量削減	水量管理	（グループ 6 社が集うため設定不可）
その他の取組		働き方改革（業務効率化）による就業時間外業務の削減 → 間接的な環境負荷の抑制
		5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）管理
		従業員への教育（環境意識の向上）

10-2) 千葉リサイクルセンター

目標	実施項目	達成手段
二酸化炭素の削減	電気の管理	デマンド管理システム活用による効率的な生産
		空調の適温化（冷房 28℃ 暖房 20℃）
		照明の適正化、スイッチをこまめに切る
		操業時節電（必要無い機器設備の運転をこまめに停止）
	燃料管理	運転日報の記入による適切な車両運行管理
		重機関連のアイドリングストップ
		機器自主清掃とメンテナンスの徹底
		効率的な操業による時短を図る
廃棄物排出量の削減	入出荷作業時	混入異物分別および減容管理の徹底
		排出事業者への不適合物の周知徹底
	事務所	一般廃棄物の分別管理および再資源化の徹底
		紙削減の為、使用済み用紙の裏面利用の促進
		電子媒体によるペーパーレス化の推進
		使用済み封筒の再利用
		機密書類の再資源化
	水使用量削減	水量管理
ミスト装置の有効利用による放水の節約		
製品（チップ）への無駄な散水防止		
その他の取組	-	グリーン購入の促進（適合品の購入）
		自治会清掃への参加による地域環境保全の推進
		従業員への教育（安全・環境意識の向上）
		5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
		製品（チップ）の環境性能向上

10-3) 白岡リサイクルセンター

目標	実施項目	達成手段
省エネルギー	エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約	事務室、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する
		空調の適温化（冷房 28℃程度、暖房 20℃程度）を徹底する
		空調を必要な区域や時間に限定して使用する
		ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節する
		工場操業に関わる節電（稼働が必要無い機器設備の停止処置等）
	設備機器等の適正管理	照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理する
		共用のコンピューター等の電源については、管理担当者や使用上のルールを決める等、適正に管理する
		空調機については、フィルターの定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理する
省資源	—	排出事業者への不適合物の周知徹底
		打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用によりペーパーレス化に取り組む
		両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底する
		使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫する
		コピー機は、枚数や拡大縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする
水の効率的利用及び日常的な節水	水量管理	バルブの調整により水量及び水圧の調節を図る
		手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する

以 上